資料３

若者会議の経過と今後について

１ 概要

若者が日ごろ感じていることや、市に求めるもの、市が実施している事業について若者がどう感じているか、市の情報が若者には届きにくいといった若者調査の結果などについて、若者の意見を伺い、若者が市政に参画するための仕組みなどの検討をするために「西東京市若者会議」を令和８年度から実施している。

２ 活動内容

会議	実施月	参加者	テーマ	内容
第1回	令和8年 5月 21 日(木)	・ミーティングメンバー ・若者ミーティングOBOG ・市若手職員 ・市長	キックオフ	・市長挨拶、自己紹介、若者会議の概要説明、会議の愛称決定 ・評価検証事業の説明・選択
			情報発信	・若者に届く情報発信について
第2回	6月 17 日(水)	・ミーティングメンバー ・若者ミーティングOBOG ・市若手職員 ・事業の所管課職員 ・市長	評価・検証	・検証する上での視点の説明 ・第１回会議で選択した事業について勉強会
			居住支援	・昨年度の若者ミーティングの提案の説明 ・若者にとって大事な居住支援とは
第3回	7月8日(水)	・ミーティングメンバー ・若者ミーティングOBOG ・市若手職員 ・市長、副市長 ・評価・検証専門部会委員	評価・検証	・各グループの若者の評価のまとめ
			居場所	・西東京市にある居場所の事前説明 ・若者にとっていたくなる居場所とは
第4回	7月 15 日(水)	同上	評価・検証	・全体の若者の評価のまとめ ・発表
			居住支援	・若者にとって大事な居住支援とは （経済的支援を除く）
第5回	10 月 6 日(火)	・ミーティングメンバー ・若者ミーティングOBOG ・市若手職員 ・副市長	居住支援	・居住支援が若者にとって大事な理由・行政しかできない理由を議論する
第6回	11 月 20 日(金)	同上	情報発信	・西東京市居住支援(案)についての意見交換
意見交換	令和9年 1月 23 日(土)	・若者ミーティングOBOG ・市若手職員 ・市長、副市長 ・評価・検証専門部会委員	評価・検証	・情報発信、居住支援、居場所について報告 ・意見交換会

（添付）西東京市ホームページより

第1回みらいーなサークル（西東京市若者会議）

ページ番号 622-668-850　最終更新日 2026年7月21日

ポスト　シェア　印刷　大きな文字で印刷



概要

若者が日ごろ感じていることや、市に求めるもの、市が実施している事業について若者がどう感じているか、「市の情報が若者には届きにくい」といった若者調査の結果などについて、若者の意見を聞きながら、若者が市政に参画するための仕組みなどの検討をするための会議です！

メンバー

公募によって決まった高校生年代以上29歳以下の市内在住・在勤・在学の方、元若者ミーティングのメンバー※、市の若手職員で構成されています！

※元若者ミーティングメンバー…新たな担い手世代や若者世代が積極的にまちづくりに関わる中で、若者に対する支援や取組、まちづくりへの参画の仕組みづくりについて検討する「若者ミーティング」のメンバー（活動期間：令和6年度、令和7年度）

第1回（令和8年5月21日）

会議の愛称を決めよう！

これから始まる会議の愛称を話し合いで決定しました。

決定した愛称は【みらいーなサークル】！！

グループごとの意見

1グループ［みらいーなサークル］

いこいーなという西東京市の象徴と若者会議はみんな西東京市の未来を考えていると思ったので未来という単語を足してみらいーなという造語を作り出し、みんな楽しく集まっているという雰囲気でサークルという文字を足して、みらいーなサークルという愛称にしました。

2グループ［NEXTLink］
Nが西東京市、Eがエナジー、Xが無限、Tがトゥモローで NEXTその次の世代を担う若者たちをつなげるという意味で、Linkをつなげて NEXTLinkになりました。

3グループ［ユースマイル］
ユースで若者、スマイルで笑顔、あなたにスマイルでユースマイルになりました。あなたもスマイルになるような会議になるように！

4グループ［NYFクラブ］
にこにこヤングフューチャークラブ、Nは今の雰囲気がニコニコ、Yは私たち若者のヤング、Fは未来、やわらかい雰囲気で会議ではなくクラブにしました。

今後の予定

第2回　令和8年6月17日（水曜日）@田無庁舎5階会議室　19時00から
第3回　令和8年6下旬予定
第4回　令和8年7月中旬予定
第5回　令和8年10月中旬予定
第6回　令和8年11月予定

西東京市若者会議（みらいーなサークル）は傍聴ができます！

今までの取組（若者ミーティング）

- 若者ミーティングの取組
- 若者ミーティングからの提案（令和6年度）

第2回みらいーなサークル（西東京市若者会議）

ページ番号 498-092-032　最終更新日 2026年7月9日

ポスト　シェア　印刷　大きな文字で印刷



（1）評価事業についての勉強会

勉強会

市で実施した事業のうち、若者が選んだ事業について、各事業担当課から説明を受け、意見交換・勉強会を行いました。

評価のポイント

事業の評価ではなく、**「やり方」**について、若者は考える。

- 意見をどのように聞き反映したか？
- どのような手段を使って広報や周知をしたか？
- その事業による、子ども若者への影響はどのように確認したか？

若者たちからの感想

- 資料だけでは分からない市の担当者の思いや考えを、直接聞くことができた。
- 事業の背景や、なぜその取組を行っているのかを知ることができた。
- 市役所の人と直接話す機会は少ないため、貴重だった。
- 自分たちの意見が今後の事業に関わる可能性があると感じた。

グループワーク

「市の事業に興味があるか、または今まで興味があったか」、「市の事業の情報を知ってもらうにはどうしたらよいか」をテーマにグループワークを行いました。

若者たちからの意見

- 若者は市の事業に「興味がない」のではなく、知らないことが多い。
- 情報は「自分から取りに行く」よりも、自然に目に入る形が望ましい。
- 自分が対象であると分かる発信が重要である。
- SNS、動画、広告、地域店舗、学校、公共施設など、複数の媒体を組み合わせる必要がある。
- きっかけづくりが、市政への関心につながる。





(2) 居住支援について

居住支援についての説明

若者ミーティングからの提案について説明を受けました。

グループワーク

「どんな部屋・どんな環境だったら、このまちで自立してみたいと思うか」、「その制度をいつ・どこで知ることができれば、将来の安心につながるか」をテーマにグループワークを行いました。

若者たちからの意見

居住支援については、経済的支援だけでなく、安全性、地域とのつながり、相談できる環境、将来も住み続けられるまちの魅力が重要であることが共有されました。

第3回みらいーなサークル（西東京市若者会議）

ページ番号 533-905-726　最終更新日 2026年10月1日

ポスト　シェア　印刷　大きな文字で印刷



（1）西東京市の意見表明の取組に関する評価

グループワーク・発表

今回の発表では、第2回で意見交換会・勉強会を受け、以下の3つのテーマについて、各班から良かった点や改善点、今後の工夫について意見が出されました。

評価のテーマ

1. **子ども・若者からの意見の聞き方**
2. **広報・周知の方法**
3. **子ども・若者への影響の確認方法**

1.子ども・若者からの意見の聞き方

良い点

- 準備会や事前課題による環境づくりやアンケートの活用で意見を引き出しやすくしていた。

改善点

- 意見を聞く対象を保護者や関係者などに広げる。
- 母数を増やしてより多くの意見を収集する。
- 紙媒体だけでなくデジタルツールを活用した意見収集の多様化。

2.広報・周知の方法

良い点

- 市報やSNS、学校、動画を活用した広報手法が評価された。

改善点

- 市報では対象者の目に止まりやすいデザイン。
- 子どもに興味を持たせる動画形式。
- チラシを子ども自身が関わるデザインや塗り絵形式にする工夫。
- SNSで中高生が主体的に情報発信。
- 中高生向けの専門サイト作成も検討。

3.子ども・若者への影響の確認方法

良い点

- アンケートやタブレットを使ったフィードバック、市長からの手紙を通じたつながりの実感、行動変化の確認が評価された。

改善点

- 事業ごとに対象を適切に設定
- 具体的な数値を示して変化を把握する必要
- 参加者へのお礼や魅力づけで参加を促進
- 事前に現状を確認して、事業後の変化を正確に捉える準備が重要

（2）居場所について

グループワーク・発表

「みんなにとって公共施設は行きやすい？行こうって思える？」をテーマにグループワークを行いました。

居心地がよいってどういうこと？

物理的条件

- 自然が感じられる（木目・眺め・緑など）
- Wi-Fiやコンセントなどの設備がある
- 日あたりが良く、気候が快適（暑すぎず寒すぎず）
- 静かな場所と賑やかな場所を選べる
- 飲食ができるスペースがある
- 座れる場所や広い机がある

心理的条件

- 誰かに認めてもらえる、安心して過ごせる（心理的安全性）
- 不安や課題を取り除ける
- 個人スペースが確保されている
- 人目を気にせず自由に過ごせる
- やりたいことをやりたい時にできる

社会的条件

- 地域の人と関われる場
- 友達がいるとさらに居心地がいい

公共施設との違いは何だろう

- 公共施設には「目的」が必要とされるが、居場所は「目的がなくても過ごせる場所」である
- 公共施設は硬直的で灰色のイメージがあり、利用後はすぐに帰らなければいけないという感覚がある
- 民間の居場所は長時間利用すると気兼ねすることがあるが、公共施設では気にせずいられる

公共施設に“居場所”は必要？

- 子どもや若者を含むすべての人に居心地の良い場所が必要。特に中学生や若者にはお金がないことが多いため、無償で利用可能な居場所が求められる
- 緊急時や困った時に駆け込める安全な場所としての役割が重要
- 居場所があることで新しいコミュニティや人との繋がりを促進できる
- 公共施設の「居場所化」によって心理的に安心できる環境が提供されるとよい

今ある公共施設にどんな機能があれば行きたくなる？

環境・設備

- Wi-Fiやコンセントの利用可能
- フリードリンクバーやカフェ機能
- 畳のあるスペースや飲食可能な場所
- 静かなスペースと賑やかなスペースが分けられている
- きれいで広いトイレ

利用しやすさ

- 初めて訪れる人でも使い方が分かる案内がある
- 子どももサークル運営・遊び活動ができる
- ボードゲームや画材の提供で個人の創作活動を促進
- 時間制限がない利用が可能

その他施設

- キッチンカーやパン屋さんの誘致
- 地域の人々が集まれる食堂やイベントスペース
- ショッピング・レストランなどの併設

第4回みらいーなサークル（西東京市若者会議）

ページ番号 427-020-175　最終更新日 2026年10月1日

ポスト　シェア　印刷　大きな文字で印刷



（1）西東京市の意見表明の取組に関する評価

評価・検証

西東京市子ども若者ワイワイプランの基本方針1「子ども・若者の主体的な参加ですすめる」の「子ども・若者の意見表明の機会の充実」について、具体的な事業を若者に選んでもらい、以下の観点について、理想的・現実的な目線、両方の視点を持って事業そのものではなく、事業のやり方の評価・検証を行いました。

- 事業実施にあたり、子ども・若者の意見を取り入れたり反映する予定があるか、聞いた意見に対して何らかのフィードバックをしたか
- 子ども・若者に事業を知ってもらうために、広報・周知をどのように行う予定か
- この事業を行うことによる子ども・若者への影響をどのように確認するか。

西東京市若者会議（みらいーなサークル）「西東京市の意見表明の取組に関する評価」ついての報告書（PDF：1,332KB）

（2）居住支援について

グループワーク・発表

まとめ

居住支援に関する発表では、安心・防犯、つながり・居場所、生活支援、交通利便性、自然や街の魅力、情報提供などが重要な要素として挙げられました。
特に、強制されない緩やかなつながり、安心して暮らせる環境、将来への不安を相談できる場、自然と都市機能のバランスが、西東京市で若者が安心して暮らすために大切であると整理されました。